

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0667	社会教育推進経費					01	10	05	01	430	51
	事業名	0667	社会教育推進経費	所属	450400	教育委員会生涯学習課	連絡先(記入者) 森 義尚 22 - 9679					
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる										

概要	事業概要	社会教育法第15条に定める社会教育委員を委嘱し、生涯学習の計画や各種事業への助言を受ける。						事業期間								
								平成	16	年度	～	平成	年度			
	根拠法令・要綱等	社会教育法、伊賀市社会教育委員設置に関する条例				審議会・委員会等		社会教育委員会								
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号								
	対象(誰を、何を)	生涯学習の短期的構想				※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	生涯学習に関する幅広い提言や助言を受け、事業に関する方向性と計画の策定に反映させる。															
H24実施内容	社会教育委員会 審議会[平成24年度生涯学習関係主要事業について等](平成24年6月22日) 第43回東海北陸社会教育研究大会(富山大会)(平成24年10月18～19日) 社会教育関係者の交流の場づくり事業ブロック別ネットワーク会議(平成24年10月4日) 社会教育委員・家庭教育の取組 家庭教育講演会「子どもが主役で大人がコーチ」(平成25年2月2日)															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	社会教育委員会開催回数	回	目標 2.0	実績 1.0	目標 2.0	実績 6.0	2.0	2.0
成果指標	社会教育委員会からの提言数	件	目標 3.0	実績 2.0	目標 3.0	実績 2.0	3.0	3.0	懇談会での協議された案件数

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費(補助率)								
	県費(補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	事業費	5,400	3,954	5,403	5,400	5,400	5,400	5,400	
	人件費								
	正規職員	人数 0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人	人	人	人	人	人	人	
	小計(B)	5,400	3,954	5,403	5,400	5,400	5,400	5,400	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
[収支]	合計(D=(B+C))	9,377	7,998	9,447	9,444	9,444	9,444	9,444	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
	一般財源充当額(D-A)	9,377	7,998	9,447	9,444	9,444	9,444	9,444	
	うち繰越金 ※前年度比	—	△1,380	1,449	△3	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	1. 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
社会教育法第15条に基づき、設置される特別職公務員であり、教育委員会へ助言することを任務としている。社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問に応じた意見が受けられない。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	社会教育委員会を2回開催するほか、研修会への参加、社会教育委員との合同事業などを行うとともに、東海北陸社会教育委員大会において活動事例報告を共同で行うことで、生涯学習事業の内容を検証し次年度事業に繋げたい。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 社会教育委員会審議会及び懇談会を計6回開催し、東海北陸社会教育研究大会(富山大会)での活動事例の発表などの活動を行った。また、家庭教育の取組として、家庭教育講演会を開催した。
現時点における課題及び課題に対する改善策	平成25年度三重県伊勢市、志摩市において全国社会教育委員大会が開催されることとなっており、県から事業報告や研究発表が求められていることから、社会教育委員会を開催するほか、委員独自の研究会や学習会が必要となっている。また、成人式等の開催内容の見直し等意見を求める必要がある。社会教育委員と共同した事業を行い、伊賀市の生涯学習について検証し、社会教育事業の推進につなげる必要がある。		
今後の方向性	担当課長氏名 児玉 泰清	方向性 現状維持	理由 社会教育委員会の自主活動や独自活動により、委員間の調整が図られ意見がまとめられやすくなっており、教育委員会への提案等社会教育の推進につなげられている。また、全国大会への協力など他の市町の状況把握や情報交換が行え更なる推進につなげることが可能となる。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 10	項 05	目 01	細目 430	細々目 51
	事業名	0668										
	基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	所属	451800	教育委員会青山公民館	連絡先(記入者) 52 - 1110					

概要	事業概要	社会教育指導員が社会教育・公民館活動事業の企画や助言及び中・高校生の職場体験活動のための受け入れに伴う、研修会等への参加により知識と情報の習得。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						平成	年度 ~ 平成	年度			
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	中・高校生						※対象 件数	単位 回	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	「働くこと」の尊さや喜び、厳しさを実感し、社会生活や職業に対する基本的な能力・態度を身につける。											
H24 実施 内容	・公民館活動事業の企画立案 ・中・高校生の職場体験の受け入れ												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	受入数	人	目標 6.0	実績 4.0	目標 6.0	実績 7.0	8.0	10.0
成果指標	受入累計数	人	目標 12.0	実績 10.0	目標 18.0	実績 17.0	24.0	30.0	

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費 (補助率)								
	県費 (補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	事業費								
	消耗品費	5	5	15	15	15	15	15	
	その他事務経費								
	小計(B)	5	5	15	15	15	15	15	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費								
	正規職員	人数	人	人	人	人	人	人	
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
	人件費								
	小計(C)	0	0	0	0	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	5	5	15	15	15	15	15	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5	5	15	15	15	15	15	
	(うち繰越金) ※前年度比	—	0	10	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
受け入れる体制ができず、指導することができなくなる。	(概ね)順調		効率性
			※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)
			学校から依頼があれば、受け入れるということになっているので、こちらから人数や日程を選べない。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法	委託・指定管理(公募・競争)		負担金・補助金・交付金
(該当するもの全て)	委託・指定管理(非公募・随意)		○ 直接実施(契約・交付事務を除く)
			※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	公民館に来て社会経験として、社会の中での基本的な態度を学んでいくことができるが、これからどんな仕事があるのかをどのように見つけ選択していかせるかを、提示していくことが必要になってくる。		左記改善策への取組状況
			【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
	生徒がなぜ公民館を選んだのか。公民館でどのようなことをしたいのかを考えてもらい、体験学習で学んだことで仕事についての学習をする。		
現時点における課題及び課題に対する改善策	生徒への事前学習が必要		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	福德 大司	現状維持	仕事を体験することで、社会を垣間見ることができることで、社会の中の大人の一人として成長していくうえで、基本的な知識や態度が大切であるということにふれるよい機会、受け入れとしては、現状維持

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0669	生涯学習推進啓発事業					01	10	05	01	431	51
	事業名	0669	生涯学習推進啓発事業	所属	450400	教育委員会生涯学習課	連絡先(記入者) 森 義尚 22 - 9679					
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる										

概要	事業概要	市民の学習意欲に応えることによって、自己実現の一助とする。また、大学等の機関との連携によって少ない経費学習の機会提供を図る。						事業期間							
								平成	16	年度	～	平成	年度		
	根拠法令・要綱等	社会教育法			審議会・委員会等										
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号							
	対象(誰を、何を)	学習意欲を持つ市民			※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	学習機会が増え、参加者を多数受け入れることが可能となり、より多くの市民の希望に応えることができる。														
H24実施内容	生涯学習セミナー(平成24年6月10日～9月15日) 講演 ①近代の観光における伊賀 ②古代から見た伊賀～東大寺を造った木々～ ③地図で読み解く城下町 ④自治基本条例から見た伊賀 ⑤企業経営から見た町づくり 生涯学習市民講座 ことばの喜び・絵本の力～子どもの生きる力をはぐくむために～(平成25年2月17日) 生涯学習センターサロンコンサート 上野城の夜景と音楽の夕べ(平成25年3月27日)														

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	生涯学習セミナーの開催回数	回	目標	4.0	目標	5.0	5.0	5.0	
				実績	4.0	実績	5.0			
成果指標	生涯学習セミナーの受講者数	人	目標	200.0	目標	250.0	250.0	250.0		
			実績	77.0	実績	350.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他		93							
	合計(A)	0	93	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	事業費	254	650	650	650	650	650	650	650	
	人件費									
	正規職員	人数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
	人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
人件費										
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	合計(D=(B+C))	1,959	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	1,959	2,290	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383	2,383	
	(うち繰越金) ※前年度比	—	332	93	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
貴重な市民の学習の機会がなくなり、市民の学習意欲の低下や生きがいづくりの場を失うことになる。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	ハイトピア伊賀に設置された生涯学習センターの活用を推進する。受講者の満足度調査(参加者アンケート調査)を基に市民に身近なテーマを選択し、学習意欲の定着を図っていく。産学官連携した事業実施を目指す。広報のみではなく地区公民館をはじめ、民間協力も含めて多様な手段による事業周知を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 生涯学習セミナーには昨年度を上回る参加があり、より多くの市民の学習意欲に対応することができた。 また、市民講座やコンサートなど多様な事業を実施することができた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	二里大学連携フィールドがハイトピア伊賀の3階に設けられ、二里大学人文学部を中心に開催してきた伊賀市再発見をテーマとした大学講座は、恐ろしいテーマとして継続されることとなった。更に高度な学習の場の提供を行うこと、市民ニーズに合わせた必要があることから、身近な話題で幅広い学習を行うため、伊賀市や伊賀市に関する研究者等の協力を得たセミナーを開催する。また、ハイトピア伊賀を活用するため、いろいろな角度から事業を行う。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	児玉 泰清	内容変更	二里大学連携フィールドが稼働し、特定したテーマで講座が開催されているが、特定のテーマにとらわれず市民ニーズや現況に合わせた質の高い大学講座として学習の場を市民に提供する必要があります。また、施設の可能性を引き出し、中心市街地の活性化を図るための事業を生涯学習センター(ハイトピア伊賀)を活用して実施する。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0711	公民館事業経費					01	10	05	05	444	51
	事業名	0711	公民館事業経費	所属	450600	教育委員会中央公民館	連絡先(記入者) 其道 和也 22 - 9637					
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる										

概要	事業概要	島ヶ原公民館において、各種教室・人権講演会・文化講演会の開催、各種団体・サークル等の育成及び支援、公民館図書室の管理・運営等を行う。(島ヶ原地域まちづくり協議会への事業委託料)						事業期間							
								平成	16	年度	～	平成	年度		
	根拠法令・要綱等	伊賀市公民館条例			審議会・委員会等	伊賀市公民館運営審議会									
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			1	2	6	
	対象(誰を、何を)	一般市民(島ヶ原地区)			※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	学習の機会が提供され、自己実現が図れる。														
H24実施内容	・健康体操教室11回 ・ちぎり絵教室11回 ・絵本の読み聞かせ教室12回 ・園芸教室9回 ・プリザードフラワー教室2回 ・原毛フェルト教室2回 ・防犯教室4回 ・文化講演会1回 ・人権講演会1回														

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	事業開催回数	回	目標 40.0 実績 39.0	目標 40.0 実績 53.0	50.0		50.0	
成果指標	事業参加者数	名	目標 800.0 実績 792.0	目標 800.0 実績 1,255.0	1,300.0		1,300.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	公民館事業委託料	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664	
	その他事務経費									
	小計(B)	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664	1,664	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費									
	正規職員	人数 0.3人 人件費 1,705	人数 0.3人 人件費 1,733							
臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人 人件費	人数 0.1人 人件費	人数 人 人件費							
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	合計(D=B+C)	3,369	3,397	3,397	3,397	3,397	3,397	3,397	3,397	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	3,369	3,397	3,397	3,397	3,397	3,397	3,397	3,397	
	(うち繰越金) ※前年度比	—	29	0	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
地域における学習の機会の提供や、自己実現、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図ることが阻害され、生活文化の振興社会福祉の増進が減退する。	(概ね)順調		
関与の妥当性		協働の状況など	島ヶ原地域まちづくり協議会
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	現在地区公民館に所属するサークル協議会間の連携を図り事業格差等の是正に努めるとともに組織の統合を検討する。公民館図書室の運営や講座・教室の開催数、講座の規模について、公民館により大きな開きがある。参加者状況や参加者の意見を考慮しながら講座内容等の検討を図る。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 公民館サークルの連携を図るため代表者による統合への協議を行った。 公民館図書室の充実を図るため電子化対応の準備を行った。 公民館教室の意向調査のため参加の少ない年代を対象にアンケート調査を実施しニーズの把握に努めた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	公民館事業を委託により実施しているが、情報不足や他の公民館との連携不足により事業展開に格差が生じている。他の公民館からの情報提供や事業協力を行うとともに、研修や講習を行うことにより担当職員のスキルアップを図る。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	児玉 泰清	民間委託	任氏自治協議会に事業委託し実施している。図書事業や講演会、教室など他の公民館と連携を図ることも、情報、図書システムへの対応のため職員のスキルアップを行い事業推進を行うことで、島ヶ原地域における社会教育の推進が図れる。また、公民館は地域住民の絆を醸成する機関として重要視されており継続する必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細目
	0712	公民館事業経費					01	10	05	05	444	51
	事業名	0712	公民館事業経費	所属	451300	教育委員会上野公民館	連絡先(記入者) 其道 和也 22 - 9637					
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる										

概要	事業概要	上野公民館において、各種講座・教室の開催・青少年健全育成事業及びふるさと学習会事業の委託、上野サークル協議会の支援等を行う。						事業期間					
		平成 16 年度 ~ 平成 年度											
根拠法令・要綱等	伊賀市公民館条例	審議会・委員会等	伊賀市公民館運営審議会										
補助金支出	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> ※支出“有”の場合要綱を記入	教育委員会関係補助金交付要綱 3生涯学習課 3文化サークル連絡協議会補助金						分掌事務番号	1	2	6		
対象(誰を、何を)	一般市民(伊賀市全域)	※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値	
成果(どうする)	市民の学習意欲に応えるとともに、講座受講等で自主活動が喚起される。												
H24実施内容	①上野公民館講座・教室:至福の教室6回、悠々講座9回、伊賀の文学風土記教室5回、オカリナ教室7回、健康体操教室7回、ラインダンス教室7回、パソコン教室20回、伊賀の方言講座3回 ②青少年健全育成事業(委託先:上野児童福祉会連合会):卓球大会・リーダー研修会・ミステリー列車等 ③ふるさと学習事業(委託先:上野児童福祉会連合会):郷土の伝統文化・産業学習・各種体験活動・野外活動等 ④伊賀市子どもセンター事業:わくわくいがっこ通信の発行 ⑤巳の春展 ⑥上野サークル協議会まつり ⑦伊賀地域ふるさと音頭交流会												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	講座・教室開催回数	回	目標 40.0 実績 33.0	目標 40.0 実績 64.0	57.0	57.0			
	成果指標	講座・教室参加者数	名	目標 500.0 実績 497.0	目標 500.0 実績 2,320.0	2,400.0	2,400.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業推進報償費	545	637	707	707	707	707	707		
	消耗品費	209	273	289	289	289	289	289		
	青少年健全育成事業委託料	1,850	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		
	ふるさと学習事業委託料	260	260	260	260	260	260	260		
	子どもセンター事業委託料	475	475	475	475	475	475	475		
	文化サークル連絡協議会補助金	0	205	205	205	205	205	205		
	その他事務経費	146	255	264	264	264	264	264		
		小計(B)	3,485	4,105	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数 1.2人	1.2人	1.2人	1.2人	1.2人	1.2人	1.2人	
		人件費	6,818	6,932	6,932	6,932	6,932	6,932	6,932	
臨時・嘱託・再雇用職員		人数 人	0.6人	人	人	人	人	人		
人件費										
	小計(C)	6,818	6,932	6,932	6,932	6,932	6,932	6,932		
	合計(D=(B+C))	10,303	11,037	11,132	11,132	11,132	11,132	11,132	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	10,303	11,037	11,132	11,132	11,132	11,132	11,132		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	734	95	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
地域における学習の機会の提供や、自己実現、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図ることが阻害され、生活文化の振興社会福祉の増進が減退する。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	公民館サークル協議会の運営助成の見直しとともに組織の統合を検討する。講座等についてはおおよそ三年で見直しを行っているが、公民館講座・教室の運営等について参加者状況や参加者の意見を考慮しながら内容の検討を図る。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 公民館サークルの連携を図るため代表者による統合への協議を行った。公民館教室の意向調査のため参加の少ない年代を対象にアンケート調査を実施しニーズの把握に努めた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	公民館教室の開催に当たり、募集の枠に対し、参加申し込みが多く参加できない方が多くなっているが、20代から50代の参加者が少ない状況にある。公民館情報の交流等他の公民館活動への参加や、事業開催時間の見直し、親子参加の催しなど参加しやすい環境の提供を図る。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	児玉 泰清	現状維持	講演会、教室など他の公民館と連携を図るとともに、情報システムへの対応を行い事業推進を行うことで、地域における社会教育の推進が図れる。また、公民館は地域住民の絆を醸成する機関として重要視されており(特に3. 11以降公民館の重要性が見直されている)継続する必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 10	項 05	目 05	細目 444	細々目 51
	事業名	0713										
	基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	所属	451400	教育委員会いがまち公民館	連絡先(記入者) 戴 佐代子 45 - 9122					

概要	事業概要	公民館教室・講演会・展示会の開催。 各種の団体、機関等の連絡を図る。 公民館施設を地域住民の集会やその他の公共的利用に供する。				事業期間					
	根拠法令・要綱等	社会教育法		審議会・委員会等		平成	16	年度	～	平成	年度
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入				分掌事務番号		1	6	
	対象(誰を、何を)	公民館教室受講生及びサークル連絡協議会(やまなみ文化協会)会員及び公民館利用者。				※対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	公民館教室の開設やサークル団体活動が活発化することにより、地域住民の生涯学習意欲の向上につながる。									
H24 実施 内容	公民館教室の開催(ア・ラカルト、朗読勉強会、絵本の時間、こども体験教室、フリーピンポン教室、園芸教室、切り絵教室)やまなみ文化協会への支援及びいがまち展覧会、やまなみ文化祭、人権講演会、読み聞かせボランティア研修会の開催										

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
活動指標	公民館教室・講座の開催回数	回	目標	70.0	目標	69.0	教室は3年間開催後サークルに移行
			実績	77.0	実績	69.0	
成果指標	公民館教室・講座への参加者数	人	目標	1,230.0	目標	1,240.0	23年度は教室数に変わりはなく、講師の希望により開催回数を増やした
			実績	971.0	実績	910.0	

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他	1,377	1,449	1,540	1,540	1,540	1,540	1,540		
	合計(A)	1,377	1,449	1,540	1,540	1,540	1,540	1,540	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	報償費	455	446	475	475	475	475	475		
	旅費	3	0	5	5	5	5	5		
	需用費	63	123	166	166	166	166	166		
	役務費	202	218	219	219	219	219	219		
	使用料及び賃借料	141	158	171	171	171	171	171		
	備品購入費	13	0	0	0	0	0	0		
	負担金、補助及び交付金	500	504	504	504	504	504	504		
	その他事務経費									
		小計(B)	1,377	1,449	1,540	1,540	1,540	1,540	1,540	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	
	人件費	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	人	人		
	人件費									
	小計(C)	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889		
	合計(D=(B+C))	4,218	4,338	4,429	4,429	4,429	4,429	4,429	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	48	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
公民館教室は地域住民の生涯学習の場として必要で、文化サークルへの補助はサークル運営に影響する。	(概ね)順調		
関与の妥当性	2. 利用者が減少するなど市民のニーズが低下、あるいは市民ニーズに比較してサービスの供給が過剰となっている事務事業		協働の状況など
実施方法	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意) <input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)		※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	親子人権教室に応募がないため、やまなみ文化協会と共催で人権研修会を実施した。受講生が少ない教室があるので、参加しやすい教室を開催する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 子どもから老人までだれもが参加したいと思う教室や、休日や夜間に開催するなど、教室の内容・日程・時間を検討し、開催する。活発なサークル活動ができるよう支援する。
現時点における課題及び課題に対する改善策	教室開催の期間3年後サークルに移行し、特定の団体への助成を廃止する。 男性・子育て世代等誰もが参加しやすい教室を開催する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	中森 宜光	現状維持	公民館教室は地域住民の意向、要望を考慮し参加しやすい教室を考えていく。他地区の公民館教室の紹介、案内をPRしながら伊賀市全体での教室開催を進めていく。文化サークル連絡協議会への支援を継続し、伊賀市全体の交流支援を進めていく。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0714	公民館事業経費					01	10	05	05	444	51
	事業名	0714	公民館事業経費	所属	451600	教育委員会阿山公民館	連絡先(記入者) 葛原 吉彦 43 - 0154					
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる										

概要	事業概要	教養・生活・文化・レクリエーション等の趣味・実技的な講座から子どもの週末活動支援事業や地域文化の伝承及び世代間交流を目的とした教室を開催する。また、自主活動を支援するためサークル活動などに対する助成金の支給や、発表会を支援、学習成果発表の場としての展覧会を開催する。						事業期間					
								平成	16	年度	～	平成	年度
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号					
	対象(誰を、何を)	生涯学習に関心のある市民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
							人	130	145	150	150		
成果(どうする)	誰もがいつでも生涯学習に取り組むことができ、講座などの生涯学習の場に参加し、実践することができる。												
H24実施内容	公民館教室(①楽がきくらぶ、②こどもちゃれんじ教室、③すえひろ学級、④ハワイアンダンス)及び講座(パソコン、トルペイント、フラワーアレンジメント)各種サークル活動団体に関する支援 その他公民館事業(①あやま展覧会、②あやま芸能交流会)の実施 公民館図書室で「読み聞かせの会」の開催												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	教室・講座開催数	回	目標 45.0	実績 36.0	目標 45.0	実績 56.0	45.0	45.0
成果指標	参加者数(延べ人数)	人	目標 1,580.0	実績 541.0	目標 1,495.0	実績 1,109.0	1,495.0	1,495.0	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他	1,270	1,439	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	
	合計(A)	1,270	1,439	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	事業推進報償費	979	1,103	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	
	施設管理運営委託料	79	79	79	79	79	79	79	79	
	使用料及び賃借料	153	168	223	223	223	223	223	223	
	その他事務経費	59	89	58	58	58	58	58	58	
		小計(B)	1,270	1,439	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460
人件費	正規職員	人数	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人	
		人件費	4,546	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数								
		人件費								
	小計(C)	4,546	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	
	合計(D=(B+C))	5,816	6,061	6,082	6,082	6,082	6,082	6,082	6,082	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,546	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	4,622	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	76	0	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額	3,636	3,697	3,697	3,697	—	—	—	—	

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
各種サークル活動団体への支援は、生涯学習の場を提供し行政の補完を果たしている。	(概ね)順調	該当なし	
関与の妥当性	協働の状況など		「阿山展覧会・あやま芸能交流会」は、あやま文化協会との共催事業で実施している。
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	魅力ある教室開催のため、情報収集と工夫を凝らし、参加者の増員を図る。また、あやま文化協会と阿山公民館の共催事業である「あやま展覧会・あやま芸能交流会」は、継続開催の要望が大きいため今後も引き続き開催する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 事業効果のある公民館教室にするため、身近な講師等地域の情報収集や色々工夫して、参加者の増員を図った。また、あやま文化協会と阿山公民館の共催で「あやま展覧会・あやま芸能交流会」を開催し公民館サークルの展示部門と芸能部門の発表の場、活躍の場を提供して生涯学習への機運を盛り上げ意欲を向上させた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	すえひろ学級(高齢者)の男性参加者が少ないので、新たに男性向けの講座(陶芸教室・竹細工教室等)を検討している。また、こどもちゃれんじ教室の年間参加申込者が多く、定員50名で締切ったがその後も多くの申込みがあった。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	葛原 吉彦	現状維持	魅力ある教室開催のため、情報収集と工夫を凝らし、参加者の増員を図る。また、あやま文化協会と阿山公民館の共催事業である「あやま展覧会・あやま芸能交流会」は、継続開催の要望が大きいため今後も引き続き開催する。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0715	公民館事業経費					01	10	05	05	444	51
	事業名	0715	公民館事業経費	所属	451700	教育委員会大山田公民館	連絡先(記入者) 福谷日出夫 46 - 0130					
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる										

概要	事業概要	年間を通して各年代層のニーズに応じた教室を実施。また公民館サークルの支援。その発表の場として毎年2月に大山田芸術文化祭を実施。				事業期間							
			平成	年度 ~ 平成	年度								
	根拠法令・要綱等	社会教育法		審議会・委員会等									
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 教育委員会関係補助金等要綱				分掌事務番号	6					
	対象(誰を、何を)	生涯学習の機会の提供を求める市民		※対象件数	人	H23実績	5,536	H24実績	5,401	H25見込	5,269	H26目標値	5,140
	成果(どうする)	各種教室を実施することで、それぞれのニーズにあった体験ができ、それらを通して生きがいのある生活ができる。											
	H24実施内容	○公民館教室(一般対象) みんなの園芸教室、クラフト教室、フェルトアクセサリ教室、阿波地区出張教室、(子ども対象)夏休み子ども公民館教室、リズム運動教室、子ども茶道体験教室(その他)家族で競技かるた教室、レクリエーション吹矢体験教室等 ○大山田芸術文化祭の開催 ○公民館図書室運営 ○大山田文化サークル連絡協議会の支援 ○人権同和教育											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	公民館教室	教室数	目標	12.0	目標	15.0	17.0	17.0	
			実績	15.0	実績	16.0			
成果指標	公民館教室の参加者	人	目標	1,850.0	目標	1,850.0	2,000.0	2,000.0	
			実績	1,824.0	実績	1,914.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料	14	90	47	47	47	47	47		
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	14	90	47	47	47	47	47	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	報償費	599	605	605	605	605	605	605		
	需用費	456	413	458	458	458	458	458		
	委託料	234	234	234	234	234	234	234		
	負担金補助及び交付金	105	129	128	128	128	128	128		
	その他事務経費	128	132	165	165	165	165	165		
	小計(B)	1,522	1,513	1,590	1,590	1,590	1,590	1,590	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費	正規職員	人数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
		人件費	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人		
		人件費	219	301	301	301	301	301	301	
	小計(C)	3,060	3,190	3,190	3,190	3,190	3,190	3,190		
	合計(D=(B+C))	4,582	4,703	4,780	4,780	4,780	4,780	4,780	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,568	4,613	4,733	4,733	4,733	4,733	4,733		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	45	120	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

事後評価	必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業			
	有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄	
	市民からサービス低下と指摘され、生涯教育が後退する。	(概ね)順調		効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)
	関与の妥当性		協働の状況など	研修会等自治協議会と共催で実施している事業があります。(いきいきライフ講座)	
	実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	<input type="checkbox"/> 委託内容及び委託先の存在	大山田芸術文化祭の開催(大山田芸術文化祭実行委員会)
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)			
	昨年度記載した改善策	講座開催については、参加者や利用者に対しアンケート調査を行いニーズに合わせた事業展開を図る。本年度中に参加者のニーズにあった教室をするために、試験的に開催場所を変えて講座を開催する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】	計画のとおり進んでいる。 アンケート調査を実施し25年度に反映した。開催場所を変えた出張教室を実施しています。(フェルトアクセサリ教室は阿波地区市民センターで開催)
	現時点における課題及び課題に対する改善策	教室等の参加者は女性の参加者が大半をしめているので、今年度中にその他の公民館等を参考にし男性のニーズにあう教室を考えたい。			
	今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由	
		中 義晴	現状維持	アンケート調査の結果を参考にし、参加者のニーズにあった事業展開を図る必要があるため現状維持としたい。	

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0716	公民館事業経費					01	10	05	05	444	51
	事業名	0716	公民館事業経費	所属	451800	教育委員会青山公民館	連絡先(記入者)					
基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる				52 - 1110						

概要	事業概要	市民ニーズにあった公民館活動における教室・講座、青山文化サークル連絡協議会芸能発表会の活動支援、ふるさと美術文化展覧会の開催、地域芸術向上支援事業など生涯学習活動のきっかけ作りや発表の場の提供。						事業期間				
							平成	年度 ~ 平成	年度			
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等										
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 教育委員会関係補助金等交付要綱						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	主に青山地区住民						※対象件数				
	成果(どうする)	公民館活動に参加することによって、生涯学習活動へのきっかけとなり、また、自らが高まるとともに多くの人との交流ができる。自ら学ぼうとすることで、文化サークルへと自立して活動する。										
	H24実施内容	まなびあおやま一般講座の開催(2講座 41人)、地域芸術向上支援事業(6回 1219人)、まなびあおやま子ども講座の開催(2講座 72人)、図書館公開講座(7講座 605人)、青山サークル連絡協議会芸能発表会の活動支援(11月11日)、ふるさと美術文化展覧会(10月20~22日)、読み聞かせ事業(図書室13回600人、小学校20回 345人)										

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明		
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	まなび青山(一般・子ども)講座数	回数	目標	6.0	目標	7.0	7.0	7.0	特定世代に生涯学習の場の提供
			実績	4.0	実績	4.0			
成果指標	各種教室の受講者数	人	目標	270.0	目標	500.0	500.0	500.0	受講者数により生涯学習の普及効果が推測できる。
			実績	1,838.0	実績	1,935.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
[収入]	使用料・手数料										
	国費(補助率)										
	県費(補助率)										
	地方債										
	その他	25	162	13	13	13	13	13	事業参加負担金		
	合計(A)	25	162	13	13	13	13	13	特記事項記入欄(積算基礎等)		
[支出]	事業推進報償費	318	499	500	500	500	500	500			
	消耗品費	412	584	524	584	584	584	584			
	賠償責任保険	84	84	84	84	84	84	84			
	舞台技術等派遣委託料	63	63	70	100	100	100	100			
	会場借上料等	83	91	100	100	100	100	100			
	サークル協議会補助金	70	170	170	170	170	170	170			
	その他事務経費	77	139	220	220	220	220	220			
		小計(B)	1,107	1,630	1,668	1,758	1,758	1,758	1,758	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費	正規職員	人数	0.6人	0.6人	0.6人	0.6人	0.6人	0.6人	0.6人	
		人件費	3,409	3,466	3,466	3,466	3,466	3,466	3,466	3,466	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.4人	0.4人	0.4人	人	人	人	人		
	人件費										
	小計(C)	3,409	3,466	3,466	3,466	3,466	3,466	3,466	3,466		
	合計(D=(B+C))	4,516	5,096	5,134	5,224	5,224	5,224	5,224	5,224	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,491	4,934	5,121	5,211	5,211	5,211	5,211	5,211		
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	443	187	90	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
公民館事業に参加することにより、生涯学習活動へのきっかけとなり、また、自らが高まるとともに人との交流ができる。	(概ね)順調		
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	教室によって募集方法が変わる。		
関与の妥当性	3. 国や他の市町と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある事業		協働の状況など
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	小学生児童が参加できる魅力あるメニューを情報収集し、教室を開設する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
			小学生児童が興味を持てる体験学習を開催することができた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	幅広い世代が公民館の教室・講座に参加できるようにする。取り分け30代から50代の年代層の参加しやすい教室・講座の開設		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	福德 大司	現状維持	公民館は、住民のために教育・学術及び文化に関する各種の事業を行い、文化の振興並びに生涯学習の振興の推進のため現状維持。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0718 分館活動経費					01	10	05	06	446	51
	基本施策	33 だれもが生きがいを持てる機会をつくる	所属		451300	名称	教育委員会 上野公民館		連絡先(記入者) 其道 和也 22 - 9637			

概要	事業概要	上野公民館21分館において公民館活動を行う。(各地区住民自治協議会等への事業委託料)						事業期間 平成 16 年度 ~ 平成 年度					
	根拠法令・要綱等	伊賀市公民館条例・伊賀市地区公民館分館規則			審議会・委員会等		伊賀市公民館運営審議会						
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入					分掌事務番号			1	3	6
	対象(誰を、何を)	一般市民(上野地区)			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値			
	成果(どうする)	学習の機会が提供され、自己実現が図れる。											
	H24実施内容	※分館活動事業(上野地区21分館) 各分館の文化祭・教養講座・各種教室・公民館サークル活動											

指標	活動指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
				H23		H24		H25	H26	
	成果指標	分館事業実施数	回	目標	200.0	目標	200.0	400.0	400.0	
				実績	217.0	実績	402.0			
分館サークル数	名	目標	400.0	目標	400.0	380.0	380.0			
		実績	386.0	実績	367.0					

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								特記事項記入欄(積算基礎等)
		国費(補助率)								
		県費(補助率)								
		地方債								
		その他								
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	
	[支出]	公民館活動事業委託料	8,690	8,690	8,690	8,690	8,690	8,690	8,690	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
		その他事務経費								
小計(B)		8,690	8,690	8,690	8,690	8,690	8,690	8,690		
人件費		正規職員	人数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
		人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	人件費									
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733		
	合計(D=B+C)	10,395	10,423	10,423	10,423	10,423	10,423	10,423	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	10,395	10,423	10,423	10,423	10,423	10,423	10,423	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	29	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

事後評価	必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業															
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性			※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
		自己実現を図り、教育的視点による豆がで女生・安心な地域社会地域づくりを行っているが、地域エリアの広い上野公民館だけでは市民ニーズに対応できない			(概ね)順調							市民センターの自治センター化が進められており、人間を育てていくという教育的取組から、まちづくりといった生活レベルの取組へと公民館分館を見直す必要がある					
	関与の妥当性				協働の状況など				市民センターの運営に協力するとともに住民自治協議会事業等との共催事業を実施している。								
	実施方法(該当するもの全て)	○ 委託・指定管理(公募・競争)			負担金・補助金・交付金				※委託内容及び委託先の存在			公民館分館事業の運営 各地域住民自治協議会へ委託					
		○ 委託・指定管理(非公募・随意)			直接実施(契約・交付事務を除く)												
	昨年度記載した改善策	各公民館分館と連携を図るとともに参加状況や参加者の意見を考慮し分館事業の推進を図る。また、サークル活動等の情報交換を行い公民館活動に対する活性化を推進する。			左記改善策への取組状況				【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 公民館分館の連携を図るため分館長会議を行い情報交換や業務の適正化指導を行った。 公民館教室の意向調査のため参加の少ない年代を対象にアンケート調査を実施しニーズの把握に努めた。								
現時点における課題及び課題に対する改善策	市民センターの自治センター化が進められており、公民館分館活動の見直しと適正な事業運営に対する地域理解が必要となっている。このため、分館長会や主事に対する研修会等を開催し、公民館活動に対する活性化を推進する。																
今後の方向性	担当課長氏名	児玉 泰清			方向性	内容変更			理由								
		市民センターの自治センター化が進められており、公民館分館活動の見直しと適正な事業運営が必要となっている。社会教育としての公民館活動を見直し、自治センター事業としての地域事業として事業推進する必要がある。															

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 10	項 05	目 06	細目 446	細々目 51
	事業名	0719										
	基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	所属	451800	教育委員会青山公民館	連絡先(記入者) 52 - 1110					

概要	事業概要	6地区の公民館(阿保、上津、博要、高尾、矢持、桐ヶ丘)に事業を委託して、それぞれの地域の特性を生かした公民館活動の推進。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						平成	年度 ~ 平成	年度			
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		3		
	対象(誰を、何を)	青山地区住民						※ 対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	地区分館において、地域の特性を生かした公民館活動が行われ、地域住民が活発に交流する。											
H24 実施 内容	各地域の特性に応じた公民館活動を展開していただいた。												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	講座・教室・スポーツ公民館 行事の開催数	回	目標 50.0 実績 46.0	目標 50.0 実績 55.0	50.0	50.0	行事の開催数	
成果指標	参加人数	人	目標 6,000.0 実績 6,278.0	目標 6,000.0 実績 7,331.0	6,000.0	6,000.0	生きがいをもって活動している人が 増える。		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費 (補助率)								
	県費 (補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	委託料	1,620	1,668	1,668	1,668	1,668	1,668	1,668	
	その他事務経費								
	小計(B)	1,620	1,668	1,668	1,668	1,668	1,668	1,668	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費								
	正規職員	人数 0.5人	0.5人	0.5人	人	人	人	人	
臨時・嘱託・ 再雇用職員	人数 人	人	人	人	人	人	人		
	小計(C)	2,841	2,889	2,889	0	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	4,461	4,557	4,557	1,668	1,668	1,668	1,668	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	4,461	4,557	4,557	1,668	1,668	1,668	1,668	
	※前年度比 対象者あたり一般財源充当額	—	96	0	△ 2,889	0	0	0	

必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響 高齢者や交通弱者の多い地域で公民館活動を進めることは、市民に公平な学習の機会を与えられなくなり、交流の場や生涯学習の場となることが地域の活性化につながっている。その場所を失うことになる。	達成度 ※未達成事項記入欄 (概ね) 順調	効率性 ※事業を行うにあたって非効率な点 (実施主体、システム等) 住民自治協議会との協働事業を効率よく展開している。
関与の妥当性	3. 国や他の市町と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある事業	協働の状況など	住民自治協議会との協働の中で、地域資源や特性を有効に活用して事業を行っている。
実施方法 (該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	※委託内容及び 委託先の存在 委託先: 住民自治協議会 ・伊賀市地区公民館分館規則第3条に定める業務
昨年度 記載した 改善策	公民館活動を有効に行うために、分館長会議などにより情報交換や分館長・主事研修を開催し、公民館活動への理解を深める。	左記 改善策 への 取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 分館長会議での情報交換や分館長・主事研修を行うことができたが、公民館と分館との協働事業、公民館活動へのアドバイスを今後考えていきたい。
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	地域での人権研修の取組		
今後の方向性	担当課長氏名 福徳 大司	方向性 現状維持	理由 公民館が地域の拠点となり、交流の場や生涯学習の場となることが、地域の活性につながり、今後も事業を展開していく必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分コード	01	10	05	06	445	01
	事業名	2611 柘植公民館耐震化事業(柘植公民館耐震補強計画・設計業務委託料)	所属	451400	教育委員会いがまち公民館	連絡先(記入者)						
	基本施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	中森宜光 45 - 9122								

概要	事業概要	柘植公民館は昭和33年建築、50年以上経過し耐震性に問題があり、公共施設としての安全性が危惧されるため平成24年度に耐震診断を実施した。その結果、倒壊または崩壊する危険性が高いため、耐震補強工事を行う。						事業期間		平成 25 年度 ~ 平成 26 年度			
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	柘植公民館は、いがまち公民館が実施する事業やサークル団体の活動をはじめ、地域住民の活動拠点として幅広く利用されているため、地震発生時における人命被害を未然に防ぐ						※□対象件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値
	成果(どうする)	平成25年4月に耐震補強計画を発注、6月頃計画が提出される見込みである。その結果を受けて設計業務委託を発注する。											

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
	活動指標		H24	H25	H26	H27	
	成果指標						

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。											
	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)			
	[収入]	使用料・手数料										
		国費 (補助率 33.3%)									国庫補助1/3	
		県費 (補助率)										
		地方債										
		その他										
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	設計業務委託料			2,588	6,271						
		その他事務経費										
			小計(B)	0	0	2,588	6,271	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
		人件費	正規職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
			臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費			0	0	0	0	0	0	0		
		合計(D=(B+C))	0	0	2,588	6,271	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	0	2,588	6,271	0	0	0				
	(うち繰越金)											
	※前年度比	—	—	2,588	3,683	△ 6,271	0	0				
	対象者あたり一般財源充当額											

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等			
新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
柘植公民館は、築50年以上経過し耐震性に問題がある。そこで平成24年に耐震診断を実施したところ、耐震補強工事が必要であると判断したため。			

事前評価	
必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業
有効性	1. 事務事業を実施しない場合の市民への影響は大きい。
効率性	1. 事業費や整備後の管理経費の算定にあたって、コスト削減策を考えている。また、将来のコスト増要因について対策を考えている。
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 中森宜光

特記事項
平成24年11月15日判定による耐震診断の結果、is値はX方向0.066 Y方向0.297であり、倒壊または崩壊する危険性が高い。

特記事項
柘植公民館は、サークル団体や地域住民の生涯学習活動の拠点となっていること、および柘植歴史民俗資料館として、多くの資料が展示されている。人命を守ることに加え、こうした貴重な資料を守ることが重要である。

特記事項
1/3の国庫補助を受ける